

## 眼科

### 《概要》

田尻健介医師、土師正也医師に加えて、7月から大槻紘平医師が赴任し診療を行っている。

診療疾患は白内障、緑内障、糖尿病網膜症などを中心に、眼科一般を診療しており、大阪府立泉州救命救急センターへの診察も行っている。

手術は例年通り、白内障手術が多く、大多数の症例では小切開創から眼内操作を行ない、インジェクターを用いて眼内レンズを挿入する術式を採用している。手術時間が短縮し、術後乱視が軽減することで術後視力の向上に効果を発揮している。白内障手術患者はクリニカルパスにしたがって、入院期間は片眼手術の場合は4～5日間、両眼手術の場合は8日間でほぼ全例予定通りの退院となっている。比較的若年で術後の通院に支障がない患者については、全身状態も考慮したうえで日帰りで手術も行っている。

また糖尿病網膜症の症例は従来通りに多く、蛍光眼底造影検査や網膜光凝固術を多数施行している。5月より硝子体手術を導入し、従来は他院へ紹介せざるをえなかったような症例も治療可能となった。

泉州広域母子医療センターの始動に伴い、NICUでは未熟児網膜症症例が増加している。未熟児網膜症の進行例には網膜光凝固治療で対応している。

### 《業績》

(1) 原著、総説、著書 (2008. 4～2009. 3)

番号	整理	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1		硝子体手術を施行したミトコンドリア遺伝子異常を伴う糖尿病網膜症の1例	土師正也 1) 南政宏 2) 福本雅格 2) 佐藤孝樹 2) 池田恒彦 2) 村瀬裕子 3) 寺前純吾 3) 花房俊昭 3) 1) 市立泉佐野病院眼科 2) 大阪医科大学眼科 3) 大阪医科大学第1内科	臨床眼科	62(10)	1745-1749	2008